

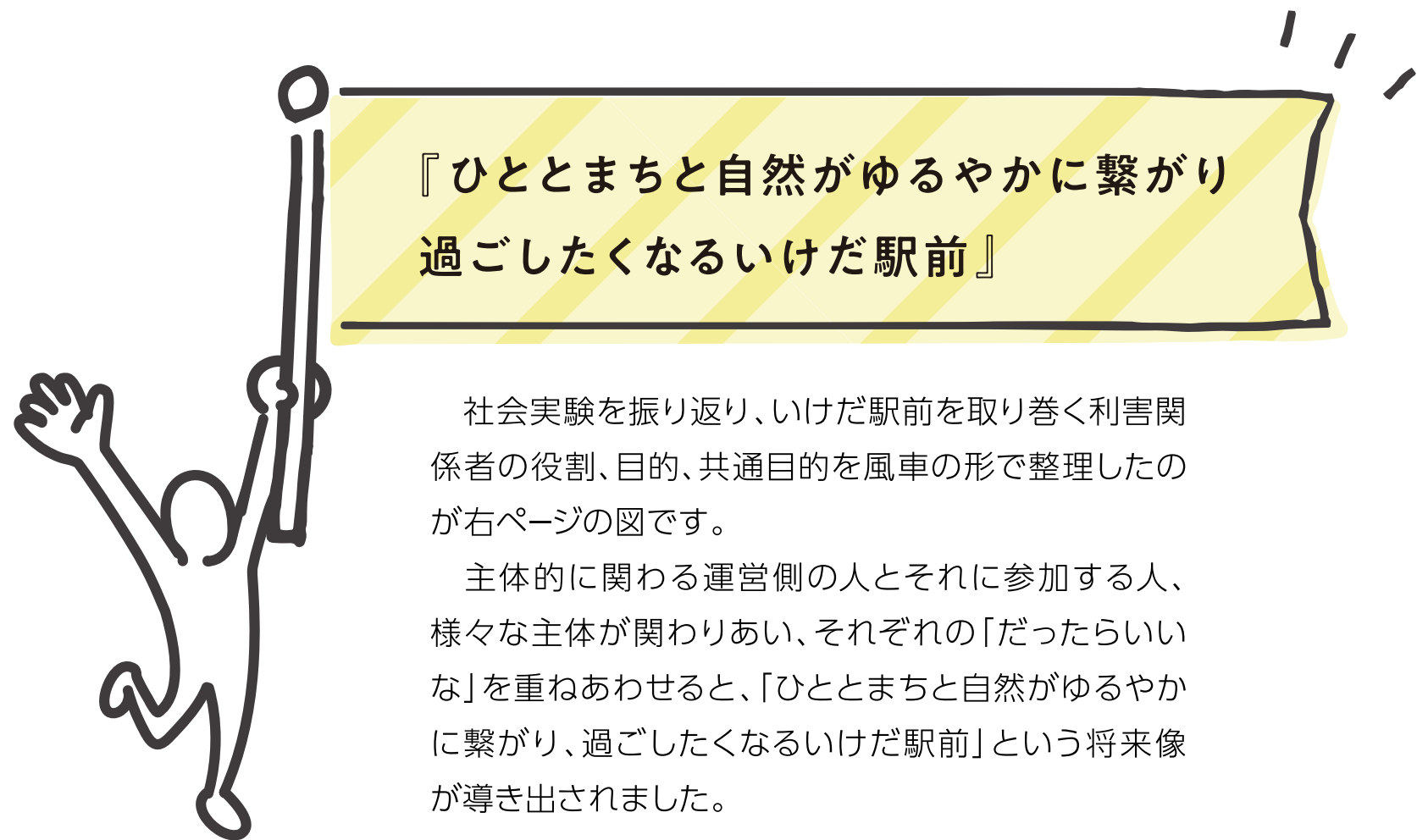
みんなで考えた
将来像は

this is the vision

コレだ！



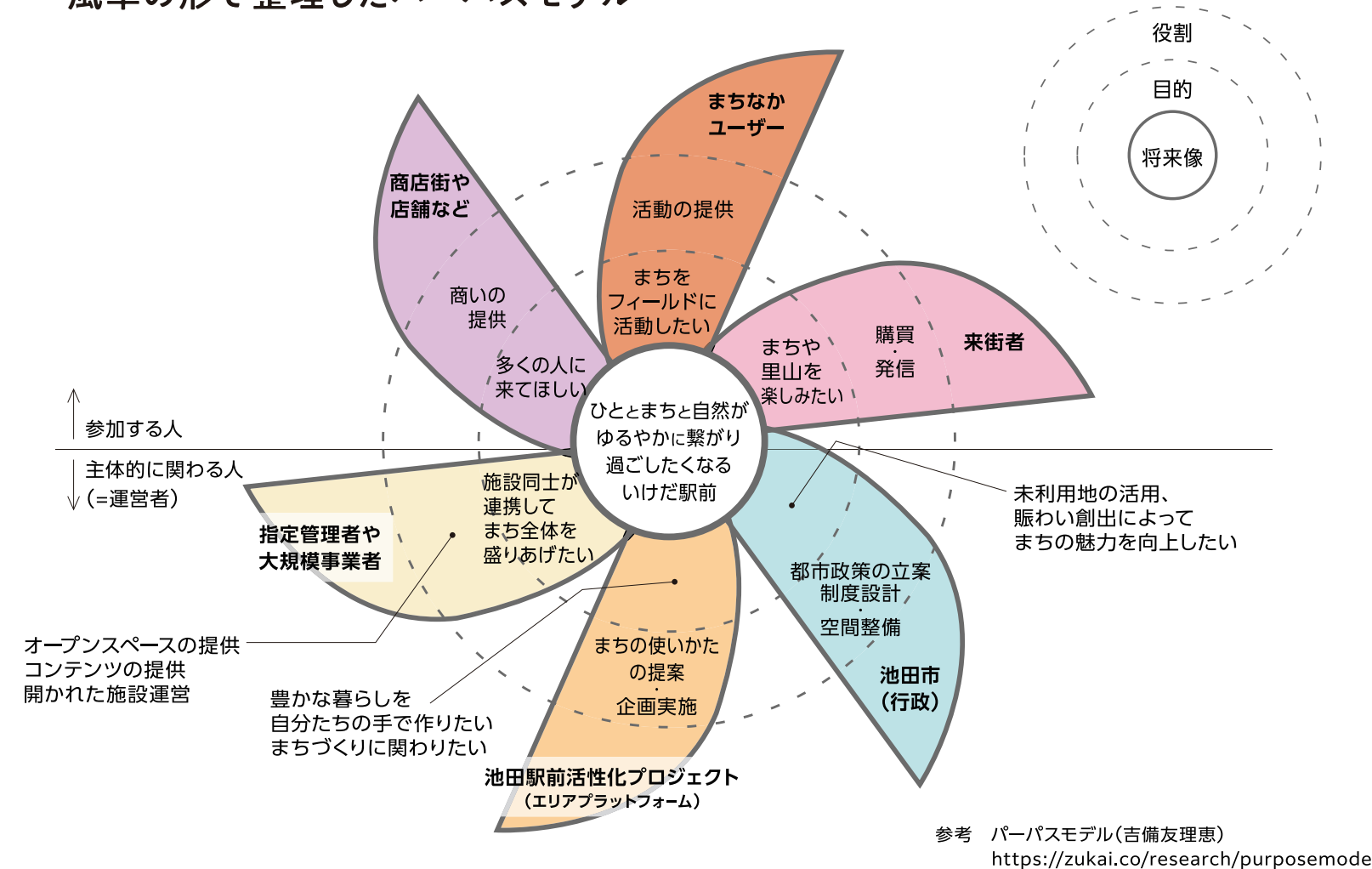
導き出した将来像



社会実験を振り返り、いけだ駅前を取り巻く利害関係者の役割、目的、共通目的を風車の形で整理したのが右ページの図です。

主体的に関わる運営側の人とそれに参加する人、様々な主体が関わりあい、それぞれの「だったらいいな」を重ねあわせると、「ひととまちと自然がゆるやかに繋がり、過ごしたくなるいけだ駅前」という将来像が導き出されました。

いけだ駅前を取り巻く関係者の役割・目的・共通目的を 風車の形で整理したパーパスモデル



将来、いけだ駅前は こんなふうに「なったらいいな」

歩いて楽しい覗いて楽しい
会話が生まれる、安心できる
関係の商業施設

シェアモビリティで
楽々移動できる、
五月山までの急勾配

情報と休憩の拠点へ
まち歩きハブ・ステーション機能の実装

建物をリノベーションして、
魅力的な個店が点在する路地の中

過ごしたくなる空間へ
滞在空間をリニューアル

五月山ブランドをPRして、
一日中遊び尽くせる里山一帯

都市のなかにある緑を知って、つないで
「日常の特等席」を見つける

阪急池田駅を一步出ると、みどりを
感じられる居心地の良い駅前空間が出
迎え、買い物にも休憩にも待ち合わせ
にも、ゆったりと思い思いの時間を過
ごすことができます。

そこからまちへ繰り出すと、商いや
生業の賑わいや活気があり、そこに暮
らす人々の生活感や文化を感じられる
まちなみを、歩いて楽しむことができ
ます。

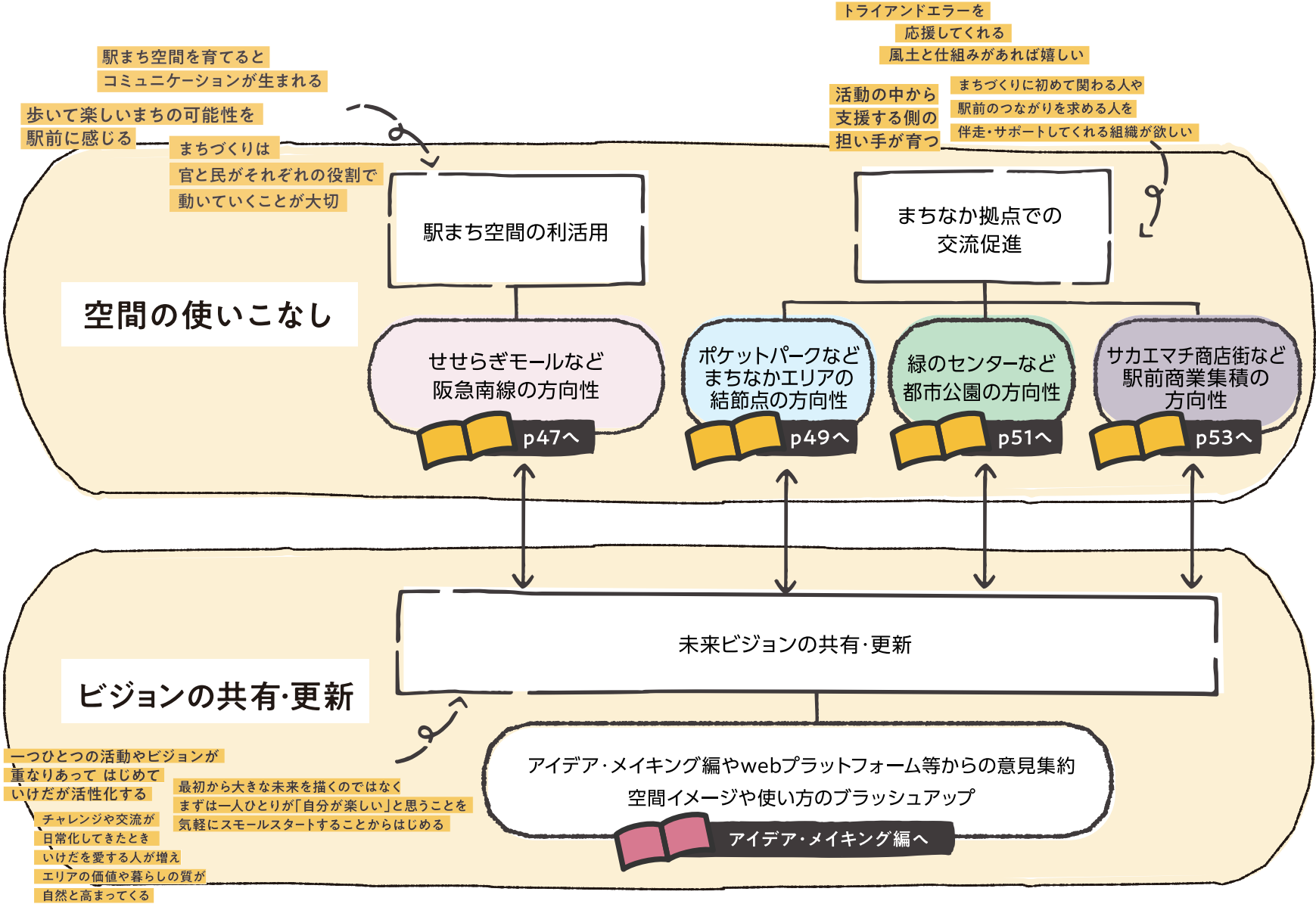
2本のストリートのハブとなるまちな
か拠点や点在する個性的な店舗、施設
といったお気に入りの場所で過ごした
り、いけだ駅前を包み込む五月山へ少
し足を延ばすことでみどり豊かな自然
のひとときを楽しむこともできます。

将来像を実現するための まちづくりの進め方

社会実験を行ったメンバーの声から見いだした将来像を実現するために、「空間の使いこなし」と「ビジョンの更新」を両輪で行っていきます。

「空間の使いこなし」では、第一に、せせらぎモールを中心とした「駅まち空間の利活用」を実現します。またこれと並行して、ポケットパークや公園、商業集積等の「まちなか拠点での交流促進」を進めていきます。

そして、もうひとつの軸となる「ビジョンの共有・更新」では、この冊子のアイデア・メイキング編を運用していくなかで多くの人たちの夢を集め、いけだ駅前の未来ビジョンを日々進化させていきます。



4つの空間の 使いこなしイメージ

『ひととまちと自然がゆるやかに繋がり
過ごしたくなるいけだ駅前』

導き出した将来像を、
駅前の4つの空間に当てはめて
使いこなしのイメージを
具体化していきました。

都市のなかにある緑を知って、つないで
「日常の特等席」を見つける



これから、どうなっていく？

せせらぎモールなど阪急南線の方向性

過ごしたくなる空間へ

滞在空間をリニューアル

市民が気軽に
チャレンジショップを
開催できる場がある

駅からの往来の
一時立ち寄り場として
多様な滞在姿
(待ち合わせ、休憩、
放課後の遊び場)
がある

時間・曜日限定で
自転車の乗り入れを
禁止するなど
歩行者空間化を
めざします

お買い物や移動に
疲れたら
オープンカフェや
ベンチで休憩

子どもを安全に
遊ばせられる
「駅前デビュー」向け
空間がある

芝生広場や
座りたくなるベンチ

南側の駅前の
顔として
さらなる利活用の
促進を図ります

そのために、どうしていく？

目的

商業施設(民地)と道路空間とを緩やかに繋ぎ、活気ある使われ方ができる余地を生み出しながらも、ベンチなどの設置や植栽の再配置により滞在しやすい空間を作ります。サンシティ前から高架下、ステーションNまで全体の一体性を高めながら、ウォカブルな空間の拡張整備を行います。

賑わいのイメージ

親子の「駅前デビュー」向け空間で子どもが安全に遊べたり、市民が気軽にチャレンジショップを開催できたり。親水空間と店舗軒先が緩やかにつながった空間では、オープンカフェやベンチでくつろいだりワークしたり。駅前にふさわしい様々なスタイルの賑わいが創出されます。

叶えるためのアクション

公共

- ・親水空間と店舗の軒先が緩やかにつながる整備
- ・オープンカフェやベンチなどの設置許可(道路占用許可の特例など)
- ・市民等が主役となるマルシェが実施できるように、場所を提供
- ・駅前交通ネットワークのあり方の検討

エリアプラットフォーム

- ・市民等が主役となるマルシェについて、エリアプラットフォームはマルシェスタンドの貸し出し等の事業及び受付業務を担う
- ・公益事業として子どもの遊び場づくりを企画・運営する
- ・滞留してもらえる仕掛けの検討

民間

- ・商業施設と公共空間の方向性を合わせた一体的な利活用等を進める
- ・行政と連携して駐輪場のあり方を検討する
- ・駅まち空間で実施されるイベントとの連携をめざす

これから、どうしていく？

ポケットパークなど、まちなかエリアの結節点の方向性

情報と休憩の拠点へ

まち歩きハブ・ステーション機能の実装



地域メディア基地として
五月山、城跡公園方
商店街や落語ミュージアム等
まちの最新情報の
整理や発信を行う

活動したい人を
後押ししたり

マルシェを
やったり

まち歩きツアー等の
企画・運営を
行う

そのために、どうしていく？

目的

さくら通りと本町通りの中間地点である立地を活かして、駅前につわる様々なアイデアを試すリビングラボを設置。観光情報の入手や、シェアモビリティのレンタル、休憩等ができる、まち歩きの途中に立ち寄れるハブ・ステーション機能を整備します。

販わいのイメージ

エリアプラットフォームが運営する市民発の実験場(リビングラボ)によって、人が集まり、交流し、いろんなアイデアが実装されてイノベーションが起こっていきます。細河の植木や市内産業のポップアップの場、チャレンジの場としても販わいます。

叶えるためのアクション

公共

- 道路空間の占用
- コミュニティセンター跡地と連携した拠点化(検討)
- リビングラボの拠点整備
- まちあるきモデルの検討(民間駐車場と公共交通機関との連携など)

エリアプラットフォーム

- 公益事業として、地域メディア基地の立場でまちの最新情報の整理や発信
- まち歩きツアーやマルシェ等の企画・運営
- リビングラボ拠点の運営(検討)

民間

- シェアモビリティ(自転車、スローモビリティなど)の導入
- ポップアップなどの場として活用
- 発信したい情報の提供

これから、どうなっていく？

緑のセンターなど都市公園の方向性

都市のなかにある緑を知って、つないで

「日常の特等席」を見つける

夕涼みや
夜の散歩といった
ナイトイベントも

各公園の
持ち味を活かして
静と動、多様な過ごし方を
まち全体で叶える空間づくり

五月山全体で
一貫した
ブランディングを実施

ワーケーションや
マイクロツーリズムなど
企業や大学等と連携した
場の提供

動物園に遊びに来たら
ついでに五月山エリア全体に
足を延ばしたくなる

気分を変えて
公園で
仕事をしたり

そのために、どうしていく？

目的

いけだ駅前には五月山動物園・五月山公園、池田城跡公園、緑のセンター、池田駅前公園、満寿美公園など特色ある公園がいくつもあるため、それぞれの雰囲気や特徴を打ち出し、使い方や回遊してもらおう仕組みを継続的に進化させながら、各公園を暮らしやコミュニティのハブとして、来街者が足を運ぶきっかけや市民が日常の中で多様な過ごし方を選ぶことができる状態を目指します。

販わいのイメージ

休日やイベント時に限定した飲食出店や、池田ならではの茶道体験の提供等“ちょっといい日常”にふれる機会が幅広く提供され、企業や大学等と連携したワーケーションやマイクロツーリズムなどの提供がなされることで、様々なエリアで「静と動」両方の過ごし方が叶い、充実した滞在空間が実現します。

叶えるためのアクション

公共

- 特色のある公園の整備
- 周辺施設へ人流を促す仕掛けの検討(パーソナルモビリティほか)
- 五月山にある多様な施設の周遊を高める仕掛けの検討
- 民間事業者と協力した利活用手法の検討

エリアプラットフォーム

- 多様なアクティビティを誘発する仕掛けの検討
- 使われ方のモニタリング
- イベントの同時開催等、回遊の相乗効果を狙った調整
- 実施されるイベントの広報強化

民間

- 柔軟な公園運営の提案
- 地域主体の公園運営の支援
- いけだ駅前で開催されるイベントと相乗効果を狙ったイベントの開催
- イベント出店による店舗の広報

これから、どうしていく？

サカエマチ商店街など駅前商業集積の方向性

歩いて楽しい覗いて楽しい

会話が生まれる、安心できる関係の商業集積へ

空き家・空き店舗情報が
すぐ手に入り、誰もが
チャレンジしやすい雰囲気と
支援制度がある

上手く新旧が
融合し
新陳代謝が
生まれている

大型イベントは
個店や施設と
協働して同時多発的に
実施

点在する
個性的で魅力的な個店を
繋いで歩くと
自分だけの
お気に入りの店が見つかる

ひとつひとつの
アクションが
大きな輪に

商業施設の開発や
リニューアルに関して、
エリア全体で方向性や
足並みを揃えて検討し
、投資が促されている

そのために、どうしていく？

目的

店舗とお客さんのあいだや、新旧の店舗のあいだで会話が生まれやすい商店街にすること、公共空間と商業施設とが協働して「駅前空間」を育てていくことを目標とします。

販わいのイメージ

サカエマチ商店街では、空き店舗をチャレンジショップとして貸し出すなどして新旧が上手く融合し、新陳代謝が生まれています。さらに、顔馴染みの人によってつい井戸端会議が始まってしまうような、歩きやすく・立ち止まりやすい軒先空間への工夫がなされています。駅前の商業施設では、ショッピングはもちろん、毎日立ち寄って楽しく、待ち合わせ・出先でのPCリモートワーク・家族のお出掛けなどの様々なシーンに寄り添えるよう、官民の敷地を繋いだ空間づくりをします。

叶えるためのアクション

公共

- ・さくら通りは、五月山へとつながる歩きやすい、休憩できる道路空間・景観の形成
- ・誰もがチャレンジしやすくなる支援制度の検討
- ・あちこちに立ち寄り、立ち止まりやすい座具や空間の整備

エリアプラットフォーム

- ・空き家・空き店舗情報がすぐ手に入り、誰もがチャレンジしやすい雰囲気作り
- ・事業者や管理者等、多様なステークホルダーとの連携調整
- ・駅前と商店街をつなぐイベント等の開催

民間

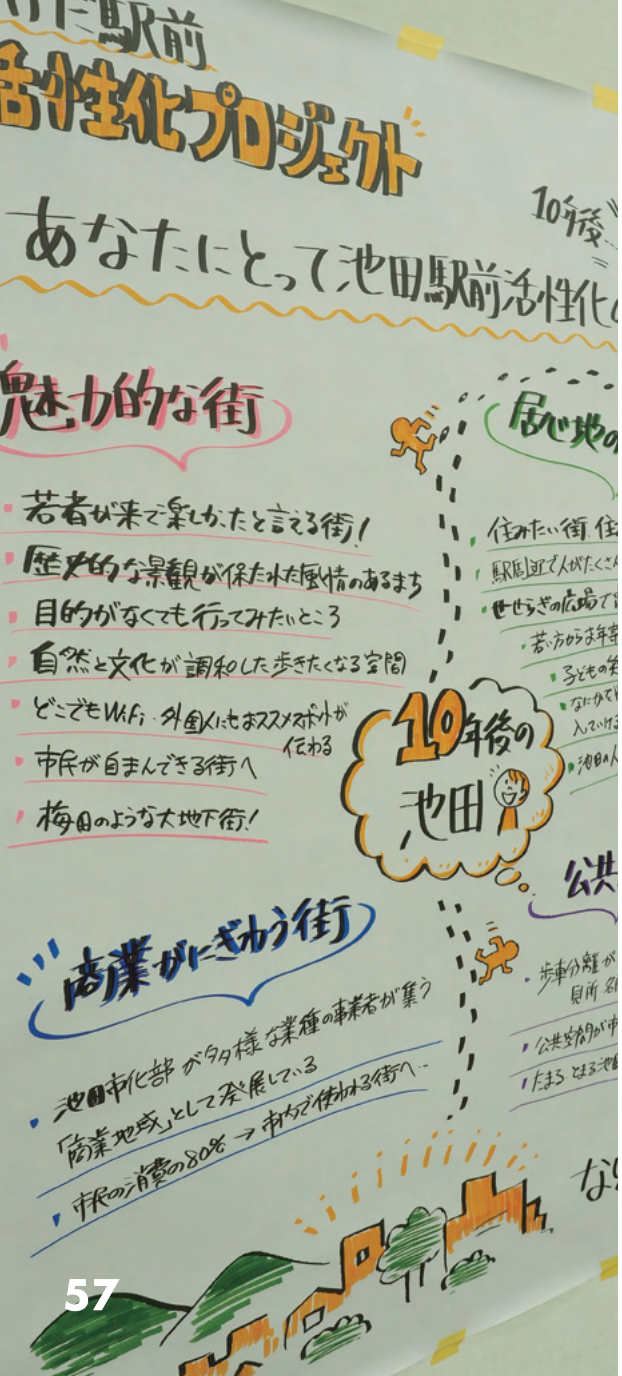
- ・個店や施設と協働した、同時多発的な大型イベントの実施
- ・ひとつひとつのアクションが大きな輪になるような機運の形成

それって、どうやって

実現させるの？



how to realize?



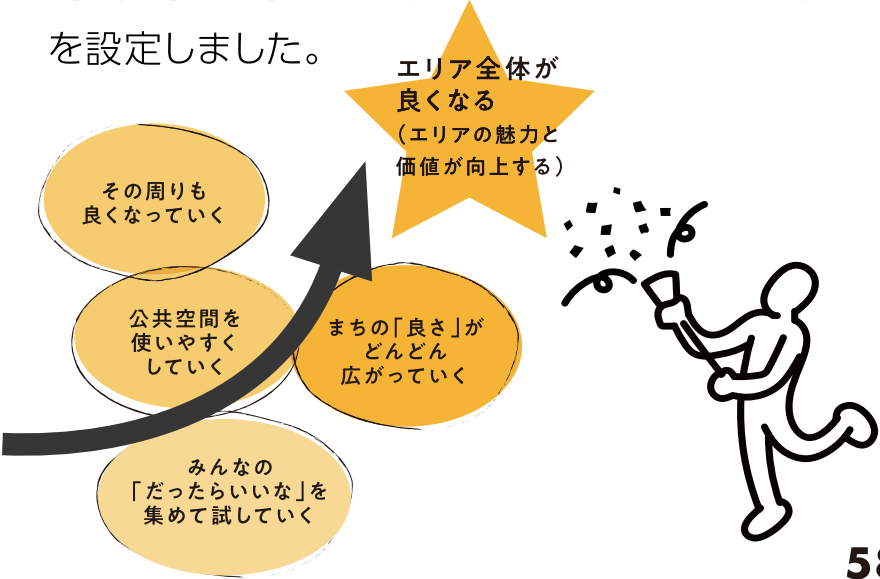
いけだ駅前がもっと魅力的になるロードマップ

Readmap

	短期(〜3年) 2023〜2025年 暫定活用・実証期	中期(5〜10年程度) 2026〜2035年 マネジメント開始期	長期(20年先) 2036〜2042年 マネジメント運用期
駅まち空間の 利活用	せせらぎモール再整備 駅前空間の利活用 社会実験等	駅まち空間利活用の促進 駅前商業施設のリニューアル等	空間の使いこなしとマネジメント 駅前の再々開発等
まちなか拠点での 交流促進	ポケットパーク前での仮拠点づくり	交流拠点整備等 空き家・空き店舗の活用等	まちづくりの担い手確保
未来ビジョンの 共有・更新	webプラットフォームの開設 個々のビジョンを収集	いけだ駅前未来ビジョンのバージョンアップ	未来ビジョンの更新、スパイラルアップ
エリプラの あり方	ステークホルダーの ゆるやかな集まり	自立・自走した組織 (エリプラ内に都市再生推進法人を組成等)	ビジョンに基づいたエリアマネジメント 主体として活動

エリアの魅力や価値が向上するというプロジェクトの成果は、長期的な取り組みによってもたらされますが、仮説を実行に移す際には成果が見えやすい取り組みからまずは実行に移していくことが重要です。

いけだ駅前の将来像を実現するため、暫定活用・実証期の結果を検証しながら、マネジメント期へ移行していくロードマップとして、短期・中期・長期での取組みとエリプラのあり方を設定しました。



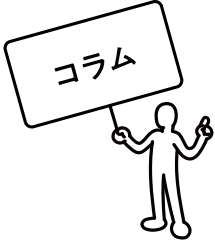
まちを測る指標・定量目標

いけだ駅前の将来像の実現性を評価するための指標・定量目標を以下のとおり決めました。「空間の使いこなし」や、「エリプラの活動等」の状況を継続的にモニタリング・共有しつつ、ビジョンやエリプラの体制の改善等を行いながら、いけだ駅前の将来像を実現していき、エリア価値の向上や、ひいては市全体の居住満足度の向上に繋げていきます。

空間の使いこなし	項目	めざすところ	指標の測り方	定量目標	
	どんな人が、どこで、どんな活動をしているか	いけだ駅前に多様な人が集まってくる	・広場、ストリートの滞在者・通行者の属性情報、アクティビティをカウント（現地調査）	R5年⇒R14年の評価点3割増加	
エリプラの活動等	集まった人がどのように感じているか	いけだ駅前に居心地の良い場所を増やす	・広場、ストリートの居心地の良さについての市民アンケート調査（4段階評価）（国土交通省「まちなかの居心地の良さを測る」）	・せせらぎモール ・さくら通り ・サカエマチ商店街 等	
	項目	めざすところ	指標の測り方	定量目標	
	エリプラに多様な人材が集まってきているか	エリプラを自立・自走した組織にする	エリプラ参画者をカウントする（うち、コアメンバーをカウント）	現況値 R4年 70人（6人）	目標値 R9年 100人（10人）
	まちなかの空間を使いこなしている人が増えているか	まちなかの空間を使いこなす人がたくさんいて、いけだ駅前のエリア価値が高まる	エリプラに登録された「まちなかユーザー※」の人数をカウントする	現況値 ※※	目標値 R9年 20人
	色んなアイデアが集まってきているか		未来ビジョン（アイデア・メイキング編）で共有したアイデア数をカウントする	現況値 ※※	目標値 R9年 20件

「まちなかの居心地の良さを測る指標」とは ※p66-67、アイデアメイキング編を参照 ※※現況値はR5年に測定する
「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成への取組みを支援するため、居心地の良い空間が形成されているかの把握、改善点を発掘するツールとして、国土交通省が作成した指標 https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_machi_tk_000081.html

公共空間は「みんなのもの」であり「わたしのもの」でもある



参加しやすい「きっかけ」を用意する

公共空間はみんなのものです。みんなのものということは、独り占めしてはいけませんが、勝手に使ってはいけないということではありません。自由使用の範囲でできることは、思っているよりたくさんあるものです。

使いこなしの上級者でない方のために、使うルールを分かりやすく公開しておいたり、「こんなことやってみたいんだけど」と気軽に相談できる窓口を設けておけば、どうでしょう。今よりたくさんの人がトライアンドエラーを重ねながら、使いこなしの上級者へとなっ

ていくに違いありません。

わたしたちエリアプラットフォームは、多くの方が参加しやすいきっかけづくりを行っています。「まちを使ってみよう」と思う人、「チャレンジしてみたい」と思う人がたくさん増えることを願っています。

居心地のよい「日常」のために

大勢でわいわいするのが好きな人もいれば、静かにひとりの時間を過ごすのが好きな人もいるでしょう。誰もが居心地の良さを感じられるよう、多様な使い方ができる空間を作ることが重要

です。いけだ駅前はそこに暮らし、働く人全員の「日常」の舞台です。居心地の悪い思いをする人がいないよう、配慮していきます。

推進体制

エリアプラットフォームとは

市民や学生、地元の企業や事業者、市職員や公共施設の指定管理者等の有志が緩やかに集まり、まちの将来像を描き、その実現に向けた取組みについて協議・調整を行うための場です。

いけだ駅前では、まちの回遊性向上や賑わい創出の取組みを面的に広げ、エリア価値を高めていくこと、その担い手となる民間事業者や次世代リーダーを発掘・育成していくため設立しました。

エリアプラットフォームがあることの主な効果

担い手の拡大

活動に取り組む担い手が増えることで、多様なプロジェクトが生まれ、まちの変化が加速します。人材を発掘・育成していくことが重要です。

にぎわいの創出

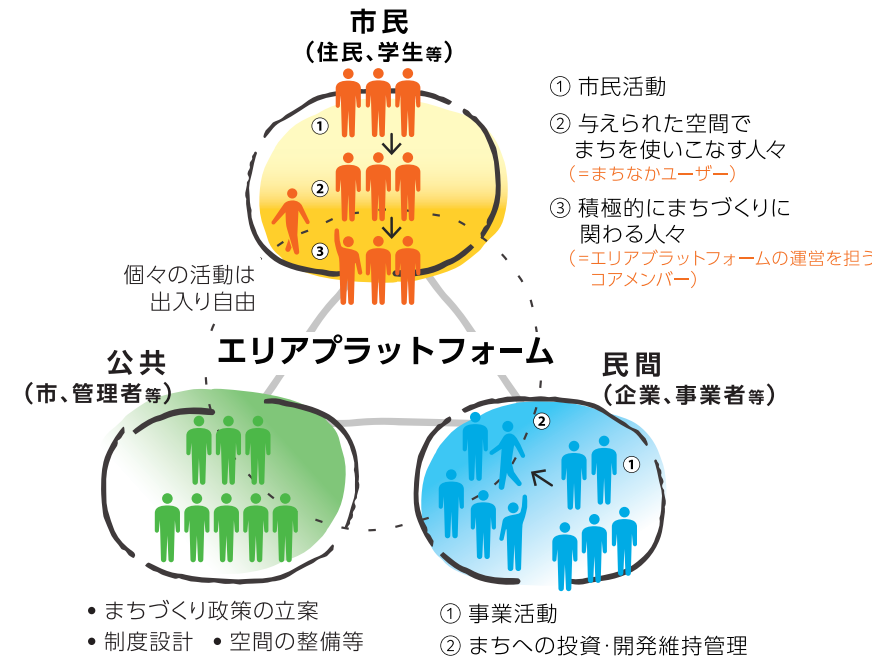
居心地のよい空間の整備やイベントの開催など、人々が集い、交流できるような取組により、賑わいを創出し、まちの魅力づくりに繋がります。

手続きのワンストップ化

まちへのアクションを実現するには、許可等の行政手続きや周辺住民への事前説明など、様々な調整が求められます。多様な主体が関わることで円滑に協議・調整が進みます。

住民の意識向上とネットワークの形成

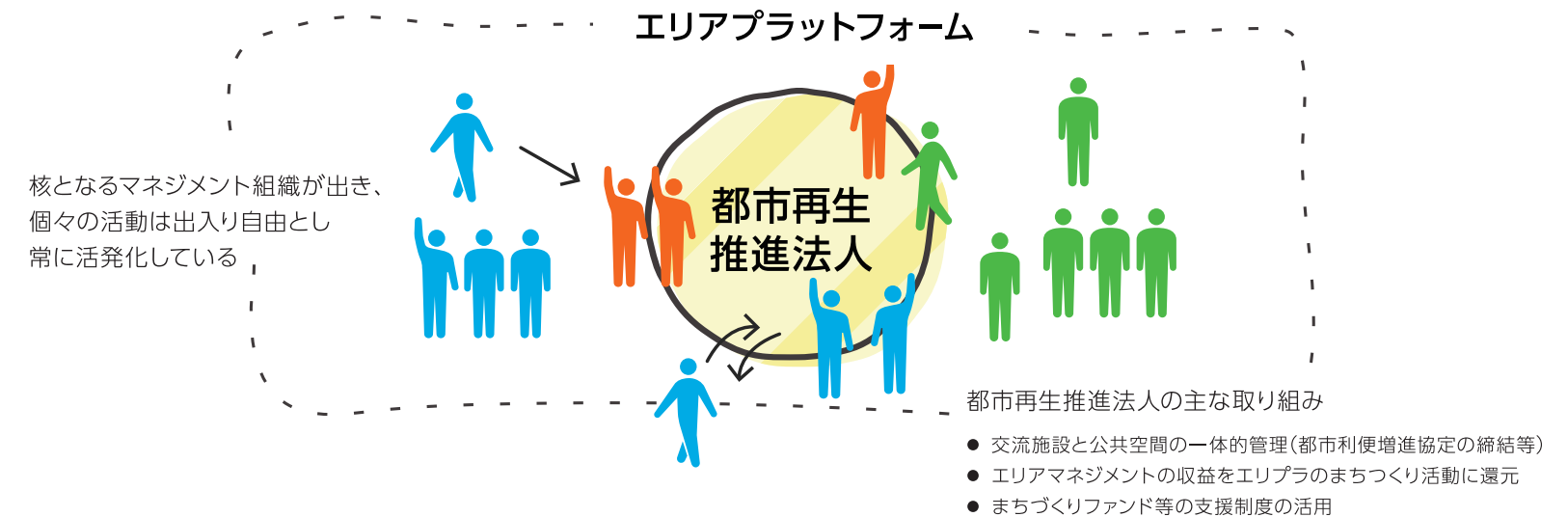
住民が抱くまちへの愛着や繋がりは、まちの魅力において重要な要素であり、活動が生まれる原動力です。また取組の過程で関係者のネットワークが形成されます。



都市再生推進法人とは

市がまちづくりの担い手として都市再生特別措置法により指定する法人で、都市再生整備計画の提案や同計画に基づく協定制、占有許可の特例等を活用しながら、まちのエリアマネジメント(公共空間の管理、情報発信、イベントの実施等)を展開していくことができます。

エリアマネジメント活動を通じて得られた収益をエリプラのまちづくり活動に還元するなど、ビジョンの実現やエリアプラットフォームを自立・自走した組織にしていくための中核的な存在になることが期待されます。



行政内の横連携

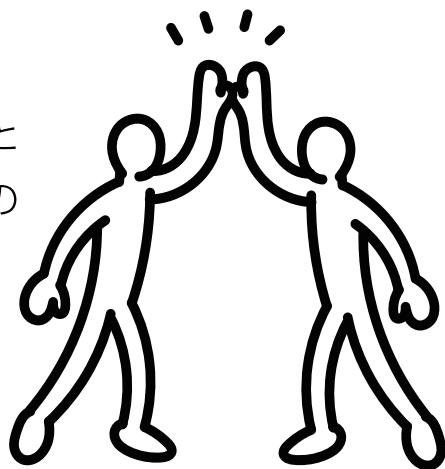
いけだまちなか活性化デザイン会議とは

いけだエリアプラットフォームと市では、いけだ駅前の方の回遊性向上や賑わい創出の取組みを面的に広げて継続的なまちづくりへと展開していくため、「いけだまちなか活性化デザイン会議」を設置しています。

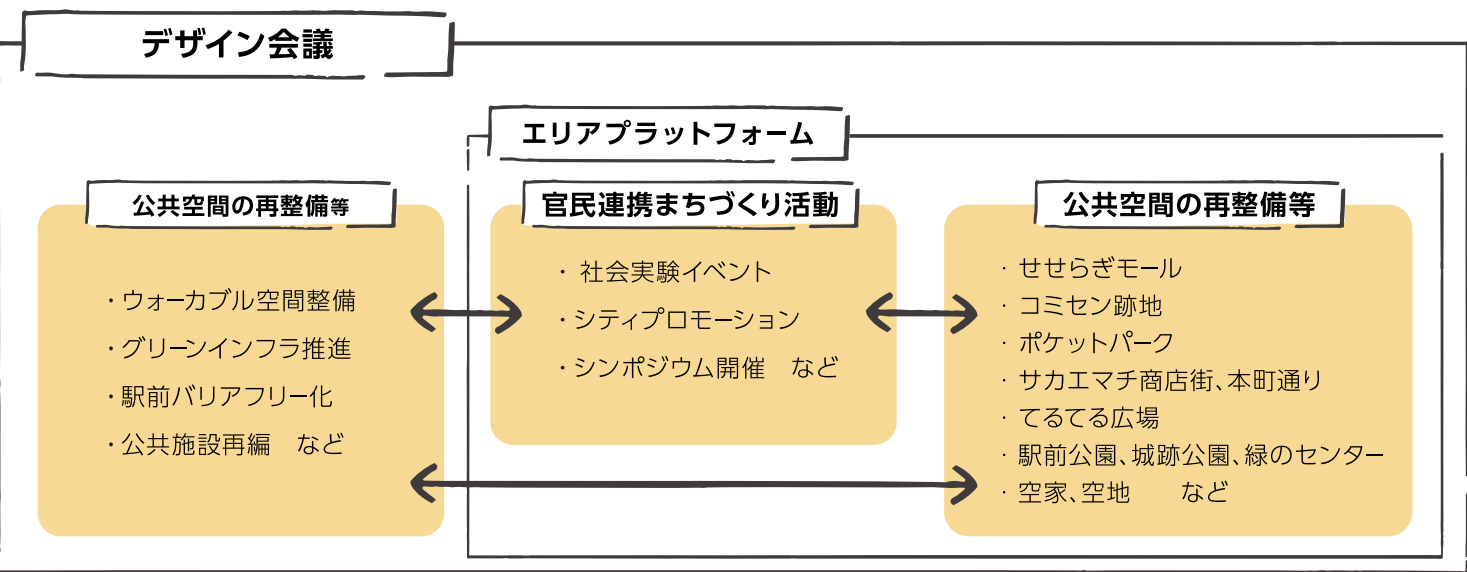
デザイン会議では、いけだエリアプラットフォーム、市長、有識者とともに、未来ビジョンの策定・改定やビジョンの実現に向けた企画立案、事業実施などに関する協議検討を行っています。

いけだまちなか活性化デザイン会議の庁内体制

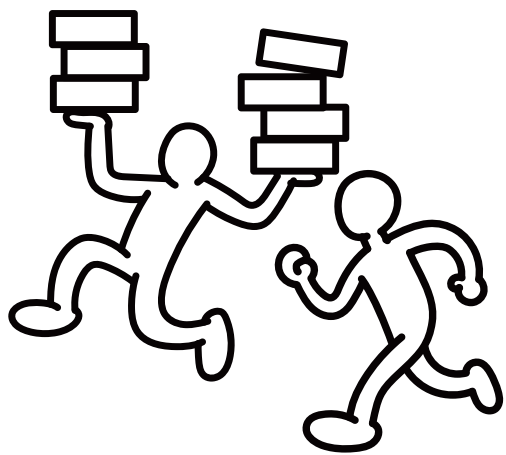
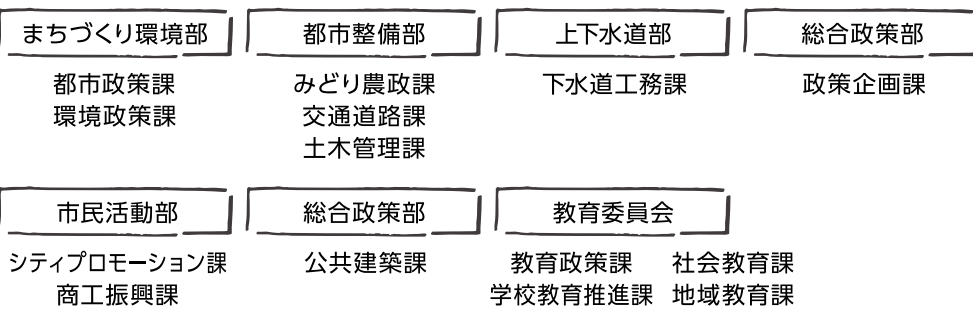
エリアプラットフォームには行政の各部課が参画しており、他の参加者と共にコーディネーターとしての役割を担っています。エリアプラットフォームの一員として運営事務局と連携しながら、事業の魅力化を図っていきます。その際に、他部課に所属するメンバーとの連携を図り、スムーズな事業推進を行います。また、個々の職員が自らの知見を活かして活動を行います。



いけだまちなか活性化デザイン会議の庁内体制図



いけだまちなか活性化デザイン会議に参加する庁内部署



活性化を進めていくための 基本的な考え方



まちのリニューアルは 運営・マネジメントと 表裏一体

これまで公共空間は主に行政主導で設計・整備し、直営管理や民間活力を導入した指定管理等が行われてきました。しかし、出来上がった空間をどう使うか考えてルールを決め、運用する主体を組織し、彼らと共に整備の構想を考えていくことで、将来に渡ってスムーズに「あるべき姿」を実現していくことができるのです。使いやすい場所貸しのルールは何か、利用者への声掛けや清掃活動はどうか、といったことを想定した上で、それを実現し

やすい空間をデザインし、整備していくことが重要です。

まちのリニューアルに 重要なこと

阪急池田駅を中心とした「いけだ駅前」は、商業施設や商店・公園・ストリートから、五月山の里山までを繋ぐ「歩いて楽しいまち」にリニューアルするため、まちなか機能の再整備を順次進めていきます。それは、暮らし働く人が日常を豊かに過ごし、訪れた人が一日中多様なアクティビティを享受できるよう、空間をリ・デザインすることです。そのために欠かせないのが、まちを

使う側の人の意見をデザインに取り入れていくこと（「いけだ駅前未来ビジョン」の運用がそれに当たります）、民間事業者との連動し足並みを揃えて開発を行っていくこと、そして出来上がった「いけだ駅前」をどうマネジメントしていくかの検討と並行して整備を行っていくことです。

民間事業者による 開発も進む

いけだ駅前では民間事業者の動きも進んでいます。せせらぎモールに面し、駅2階からも連絡橋で直結しているサンシティ池田内に2019

「IKEDIA」（合同会社MSH）がオープンし、池田市立図書館がテナントとして入りました。駅直結の便利な場所に移った図書館は、開館時間も延長され、いつでも気軽に入れる施設に生まれ変わりました。地元だけでなく域外からの集客を目標とし、吸引力のあるライフスタイル系のリーシングを強めています。また、現在進行形で、阪急池田駅に直結する商業施設「阪急池田ブランマルシェ」（阪急電鉄株式会社、阪急阪神不動産株式会社、阪急阪神ビルマネジメント株式会社）が、開業以来初の大規模リニューアルとして、店舗配置を一新し、せせらぎモール側に向けた開放感のある店舗ファサードとする等、池田の玄関口としてふさわしい、まちにひらかれた施設として2023年秋のグランドオープンを目指しています。さらに、サカエマチ商店街の入口と向かい合う「池田阪急ビル」（阪急電鉄株式会社）は現在取り壊しされ、

新たな複合施設が誕生する予定です。このように、例えばせせらぎモールのリニューアルは、ブランマルシェがモール側を開き、一体的な空間づくりが可能になれば、整備におけるインパクトは大きなものとなります。あるべき姿を官民で共有し、開発の足並みを揃えていくことは、まちのリニューアルにおいて大変重要なことです。

これからの 都市政策と事業

そこで、この未来ビジョンを読んだ人が今後の池田市の動きがわかるようロードマップを示しました。まずは、わたしたち「いけだエリアプラットフォーム」を立ち上げ、エリアマネジメントの体制を作り、あるべき姿を議論しながらこの「いけだ駅前未来ビジョン」を策定することから始めました。次いで、大きくふたつの動きとして

「まちなかウォークブルの推進」と「グリーンインフラの活用」とがあります。これはどちらも国土交通省の施策であり、「まちなかウォークブルの推進」は、車中心から人中心の空間へと転換を図り、歩いて移動できるまちなかの滞在快適性を向上させる取組のことで、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを推進するものです。「グリーンインフラの活用」は、緑や里山などの自然環境が有する多様な機能を活用して、持続可能で魅力ある地域づくりを進める取組のことで、積極的に緑や水を活かしたまちなか空間を形成するものです。これらふたつの掛け合わせにより、具体的には満寿美公園、五月山緑地、せせらぎモール、ポケットパーク、コミュニティセンター跡地の整備（または再整備）及び運営・マネジメントが順次行われていきます。

「まちなかユーザー」に

あなたもなってみませんか？



「まちを良くしたい!」「まちで何かやってみたい!」

まちに賑わいを作り自分も楽しむ人=まちなかユーザー

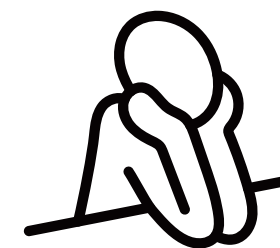
まちなかの空間を使いこなし賑わいを作る人を、「まちなかユーザー」と呼んでみましょう。

いけだ駅前には、すでに市民活動を行っている人達や、まちの活性化に向けて活動している事業者の方々がたくさんいます。

自分でチャレンジしてみたい人も、まちなかに展開されているチャレンジに参加してみる人も、全員がユーザーです。あなたが使えば、そこは「スペース(空間)」ではなく「プレイス(居場所)」になっていきます。

あなたの中にある様々なアイデアを
いけだ駅前で実現してみませんか？

考えてみよう!



池田駅前が
あなたのお気に入り空間になるためには
どんなモノ・コトがあって欲しい？

池田駅前で
自分らしく活動、チャレンジするなら
どこで何をやってみたい？

アイデア・メイキング編へ

未来ビジョン作成、エリアプラットフォームに 関わった人たち（属性）

【企業・団体等】

観光案内施設運営者、NPO法人、まちづくり活動団体、
公園指定管理者、商店会、商店街振興組合、
商業事業者、商工会議所、金融機関、鉄道会社、
不動産開発事業者、ビルオーナー、ビル運営管理会社、
通信メーカー、自動車メーカー、ベンチャー企業、
観光施設管理者、不動産会社、学生団体、池田市

【個人参加（市民等）】

主婦、会社員、物販店主、大学教員、大学生、
会社経営、アルバイト、市職員 など多数

